



プロバスだより

2012年3月8日発行

第196号

<http://www.tokyo-hachioji-probusclub.jp>

東京八王子プロバスクラブ

編集・発行：情報委員会

創立 1995年 10月 18日

創立 15年余、会員の努力で培ってきた叡智を、

2011～12年度テーマ

次のステージで躍進の糧としよう

第196回例会

日 時：平成 24年 2月 9日(木) 12:30～14:30

場 所：八王子エルシー

出席者：67名 欠席者 3名 出席率 95.7%

(会員総数 70名)

1. 開会 有泉例会委員長の司会で開会



本日の資料の確認と出席状況報告があった。

2. 挨拶 佐々木会長



立春が過ぎましたが、ハッピーコインの紹介にあったように竹内、岩島両会員の健康回復で今後の活躍を期待するところですが、皆さんも健康には十分注意して頂きたい。

いよいよ「第16回生涯学習サロン」が始まります。本格的な高齢化社会を迎えて、各方面の生涯学習講座はますます増加の傾向にあります。この中であって、わが「生涯学習サロン」については、一貫して会員自身が一切の企画・運営に当たるとともに、「サロン形式」で公募市民と会員とが対話・交流を深める、という努力を重ねながら進めてきました。今回も、地域奉仕委員会を中心に、鋭意準備が進められておりますが、会員一同協力して所期の成果を挙げたいと思います。特に話し手の方は、内容を自分のものにして、自分の言葉で話してもらいたい。また裏方にまわる方は、しっかり各自の役割を果たしてもらいたい。

昨秋以降、近隣・友好プロバスクラブから、いろいろな記念式典、パーティにお招きを受けることが多くなりました。役員が手分けして出席することとしておりますが、そこで感じることは、それぞれのクラブが、地域の実情に即した活動を地道に展開しようとしていることです。クラブが前向きになってゆけば地域に良い影響をもたらします。実際に、わがクラブの活動になりたい、参考にしたいとの意向も強く感じられるところです。プロバス賛歌、旗、徽章もわがクラブと全く同じものを使用しているクラブが多く、とくに「プロバス賛歌」については、クラブ運営の理念が余すところなく盛り込まれているとして、高い評価が聞かれます。

1月30日、国立社会保障・人口問題研究所が、2060年までの将来推計人口を公表しました。それによりますと、48年に総人口が1億人を割り、60年には8674万人まで減る見通しとなっています。また65歳以上の高齢者は、2010年にすでに総人口の23%となっていますが、24年に30%を超え、60年には40%に達すると見込まれており、高齢者にも一段と厳しい社会を迎えることが予想されます。そこで、ある大手シンクタンク理事長の次の言葉が思い出されます。

「高齢者で、裕福な人はお金を、元気な人は労力を、技能のある人は技能を提供しよう。若い世代の重荷になるのではなく、ともに社会の担い手となろう」と。この言葉はプロバスの理念と通じあうものです。

3. ハッピーコイン披露

佐々木会長からハッピーコイン（後掲16件）の披露がありました。

4. パースデー報告 ・パースデーカード贈呈



会長より2月のパースデー報告（根本洋子会員、石田文彦会員の2会員）と池田会員作成のパースデーカードが贈呈された。

5. 幹事報告 永井幹事



2件の報告、1件目はもうすぐ生涯学習サロンが始まります。毎年のお願いになりますが、受付付近に集まらないで

下さい。

2件目は5月20日に開催される市民健康フェスティバルの実行委員長に塩沢会員が選出されましたが、プロバスの方は副幹事の宮城会員が担当になりますので、協力をお願いしたい。

6. 委員会報告

(1) 例会委員会 有泉例会委員長

出席状況報告（前記のとおり）。

(2) 情報委員会 馬場委員長



プロバス日より195号には澤渡会員の投稿文が載っています。イタリアへの深い理解と見識に基づく素晴らしいエッセイです。

未掲載投稿文は間もなく掲載されます。在庫が少ないので新規の投稿をお待ちしています。

(3) 会員委員会、(4) 研修委員会 共に報告なし。

(5) 地域奉仕委員会 田中委員長



生涯学習サロン参加申し込みで、一般89名、会員69名、例年並みかやや少ない。

参加証を本日渡した。

テーマ毎の聴講者にアンバランスがあり、一部の会員に調整をお願いしました。

講座毎の担当者（司会、会場係り、記録係り等）

を決めましたので宜しく。

例会委員会でプロバス会員の受付、会員委員会で一般の受付、情報委員会で記録という具合に決めましたので宜しくお願いします。

話し手の略歴紹介、必要機材等まだ出していない方は早めをお願いします。部屋割りは現在調整中。野外サロン参加者は現在61名、申し込みは早めをお願いします。

(6) 交流担当関係 報告なし。

7. 「宇宙の学校」報告 2月例会 下山運営本部長



1月15日に閉校式を終えました。詳しい報告は、プロバス便りにありますので省略しまして、3点ほど申し

あげます。

第1の報告は参加者のアンケートについてです。参加者の感想を簡単なアンケートで頂きました。回答は79%の方から頂きました。大変好評だったといえます。

設問は

- 1：何で知ったか
- 2：参加希望したのは子どもか保護者か
- 3：開校式の印象
- 4：プラネタリウムの印象
- 5：実験工作のテーマごとの印象
- 6：家庭学習と実施について
- 7：レポート作りと発表
- 8：全体として参加して良かったか
- 9：その他

でした。詳しくは報告する時間はありませんが、好評と言っている、例えば全体として参加してどうだったかの感想では、とても良かったが70%、良かったが27%で合わせると97%が良かったと思っています。KU-MA（子供・宇宙・未来の会）の先生方のカリキュラム企画、製作の優秀さ、及びプロバスクラブの我々スタッフの取組の熱心さ、が生んだものと思います。次年度に向けて参考になる処は取り入れて、さらに発展させたいと思います。

第2の報告は、次年度の事を話さねばなりません。

んが、これはまだ何も準備ができていなく、具体的なお話は出来ません。唯せひ少しでも拡大したい、例えば2学校と言うか2クラスを開くこと位は考えたいと思っています。

第3に次年度は、今年度「宇宙の学校」へ見学に来て頂けなかった方に、是非来て頂きたい。1月15日の閉校式にはスタッフ以外でも10名ほどの方に見学して頂きましたが、プロバスクラブの大きな地域奉仕事業なので、次年度は是非全員参加で、来て頂きたいし、また来て頂ける工夫をしたいと思っています。

8. 同好会報告

お茶の会:2月28日に稽古があります。役割分担を決めますので宜しく。

ゴルフ同好会、歴史の会、写真の会、囲碁の会、麻雀クラブ、美術鑑賞の会、旅行クラブ、いずれも報告なし。

俳句の会:本日第2回の会合予定、参加宜しく。

9. その他

池田会員から「縄文時代の手紙」に関する第2回の展示会を2月16日から行う予定。詳しくは受付にハガキがあるので見てください。

田中地域奉仕委員長から追加で、野外サロンの申し込みが未だの方、本日提出をして下さい。

八木会員より「ふるさとの食を拓く会」が主催する「東日本大震災に学ぶ・食の問題」ワークショップへの参加依頼があった。

10 卓話 根本洋子

「医療関係の知っておこう豆知識」



4月に医療法人制度の改正があります。東京都の救急医療体制を見ると1次、2次、3次に分かれます。

1次救急は入院を要しない急病者に対応する医療機関で、夜間に対応してくれないところが多いので、八王子の広報を見ると出ています。2次救急は入院を要する中・重症者に対するものです。3次救急は生命に危機が切迫している重傷・重篤者に対するもので、高度医療も対象に含まれ、八王子では医療センターが該当します。

病院病床の種類は4種類あり、I種類目は精神科病院で、精神疾患を有する患者が対象で、本人の意思でない場合、親族の了承、警察管理で強制入院もあります。2つ目は療養型病院で、長期にわたり療養が必要な患者が対象ですが、今後かなりの医療行為が伴わないと長く入院できなくなる可能性があります。3つ目は急性期病院・特定機能病院（感染症病床・結核病床）で、急性・重症患者を診るものや、高度先進医療や感染症等（感染症、結核）を行う特定機能病院がある。八王子には特定機能病院はないが、感染症（新型インフルエンザ）では八王子医療センターに感染症病棟がある。結核は強制入院となり、都立府中病院、東京病院、青梅市立病院があります。4つ目は急性期病院・特定機能病院（一般病床）で、3つ目の病床以外のものが対象となります。

急性期の病院に何故長く入院できないのかについて、基本的に病気に対して定額報酬算定制度により支払われる金額が決まります。また1日当たりの急性期の病院では看護職員の月平均夜勤時間が72時間以内でないといけないし、例えば患者10人に対して看護婦1人の場合、平均在院日数は21日以内であり、入院料も1日目が2764点だが滞在日数が伸びてゆくと入院料は下がっていき、31日以上だと1日目の半額以下になってしまいます。従って病院としては早く患者を退院させなければ負担が大きくなるからです。

最近よく聞く医療用語にインフォームドコン



セントがありますが、これは患者の病気について説明、医療方針、リスクの説明等の事前説明を患者・家族にする事が一般的ですが、在院日数を短くするための説明、一定期間後で検査後や、退院後の説明などもあります。

またセカンドオピニオンという医療用語は、現在かかっている病院からの病気の説明に対して不安を感じた場合、他の病院からの意見を聞くことを指します。この場合自費になりますし、病院の予約制に注意しなければなりません。また他の病院に診断データを見せることも可能ですし、受

診後元の病院に戻ることも可能です。(2つの医療用語について久野久雄会員の補足を合わせて記入してあります。)

療養型の病院で介護保険がありますが、まだまだ俺は大丈夫と言わずに、日頃から興味を持つことが大切です。入院してから保険申請しても認定までに1.5ヶ月位必要になります。普通の医療保険だけで対応するのならば介護保険は不要ですが、介護保険は大変重要になります。

後期高齢者は1割負担ですが、医療費が高額になるものでは、保険組合から限度証明を取って申請すると、費用の減額になります。

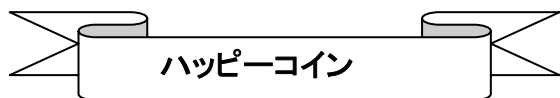
11. プロバスソング斉唱

12. 閉会の挨拶 吉田副会長



今日の卓話では、根本洋子会員が「医療関係の豆知識」の題で、一般の人が案外知らない事を解かり易く紹介して下さいました。これを久野久夫会員が補足して下さいました。日常生活の上で役に立つ事柄です。有難うございました。

いよいよ生涯学習サロンが2月23日から始まります。今まで地域奉仕委員会の方々が綿密に準備してこられたことが具現化します。成功裏に終えるために、会員の方々の全面バックアップをお願いします。身近なことでは、担当の地域奉仕委員会の方から、依頼されたことの日限を守って戴きたいことです。一人でも提出が遅れると、全体の計画を進めるのに支障をきたします。まとめる側に立って、ご協力をお願いいたします。



- ◆11月腰部脊柱管狭窄症で入院、リハビリを含め2.5か月で退院。晴れ晴れ。 竹内賢治
- ◆アキレス腱の手術をし、無事退院、ご迷惑をおかけしました。 岩島 寛
- ◆市民健康フェスティバル5月20日開催、今年

も実行委員長、ご協力宜しく。 塩沢迪夫

◆ヴァレンタインデー今年も愛情あふれ、健康にクラブ活動できるようチョコ寄贈。 立川富美代

◆小鉢の福寿草が黄色い花、

「福寿草 小鉢に一つ 日のかけら」

もうすぐ春本番。 河合和郎

◆厳寒のソウルに旧正月の旅を満喫。 野口浩平

◆来週娘が久しぶりに遊びに来る。 増田由明

◆徳島の孫の就職決定、めでたし。 濱野幸雄

◆新市長の輝かしい市政作りを応援。 宮城安子

◆1月誕生祝に池田さんのカードを頂戴した、健康診断でも指摘なし、目出度し。 下山邦夫

◆「宇宙の学校」大成功、万歳 下山邦夫

◆何事もない無事、最高の幸せ。 土井俊玄

◆「宇宙の学校」初年度事業大成功、協力に感謝。

杉山友一

◆「宇宙の学校」終了、来年度も頑張ろう。

吉田信夫

◆素晴らしい「宇宙の学校」と閉講式を終了、次年度も期待。

高取和郎

◆第16回生涯学習サロンを成功させよう、公募市民との対話、交流を深めよう。 佐々木研吾



「庭木」手入れの秘訣 荻島 靖久



カンキツ類(キンカン、ユズ等)の植えてある家は栄えるとよく言われる。

カンキツ類はいろいろあるが、八王子でもユズを多く見かける。特に上恩方地区や高月地区あたりでは多く植えられている。

その家をよく見ると立派な構えで、北側には大きな樹木があり北風を防いでいる。

ユズは土が凍っても滅多なことでは枯れないし、その実は風呂に入れたり、吸い口に使ったり、ポン酢に利用したりと重宝に使い、実用面でも役に立つ庭木である。

カンキツ類は、冬場、温暖でないとうまく育たないし、特に北風の吹きさらす庭では育たない。

つまり、冬暖かい家は健康にもよいので、そんなところから言われるのでしょう。

ユズの苗木は実のないものを選ぶことです。ユズの木は子孫の代にならねば実をつけない譬えのとおり、種を蒔いてから実をつけるまではたいそう年月のかかる木である。

ユズは北風が厳禁と言われ、気まぐれな木で、相当古くなっても思うように実をつけないことが多い。北風がまともに当たって冬に葉をふるって落とすようだと実はつかない。逆に北風を避ける場所に植えてある場合は葉も残りうまくいくようだ。このようなことから、ユズを植えるときは、北側にシイなどの常緑樹の高木があるところがよい。

何年か経っても実がならないというようなら、このようなところへ移し替えしてはどうだろうか。また、早期に実をならせるには根切りを行うのがよい。

花木、成り物(実もの)の原則だが、木が衰弱してくるとよく花や実をつける。松が衰弱すると実(松ぼっくり)がつくが、これは、種を早くつけて子孫を残すためである。

ユズも自然に任せては、実をつけるまでには相当な時間がかかるので、早くつけさせたいというときは、木をいじめてやるとよい。その時は、冬の養生をして葉を落とさせない算段(北風を遮る場所に植えるとか、菰をかけて防寒する)が必要になる。

木をいじめる手っ取り早い方法としては根切りがある。春先にスコップなどで伸びた根の先を切断するだけでよい。

病院今昔物語

根本洋子



私が勤務する右田病院は、今年で創立92年と八王子市では一番古い病院かと思います。特に救急医療は、戦前より担ってきました。

私は、昭和37年より勤務して現在に至りますが、振り返れば、当時市内には病院の数は少なく、中央線の列車事故を始め、16号線、

20号線が市内を走っていることから交通事故も多く、生死をさまよう怪我人も多数搬送されました。悲しい結末もあった一方で元気にお帰りいただく方々もいらして、様々な出逢いがありました。

病院の建物が木造の時代で、夏の暑さは窓を開けて竹の簾を立て掛けるなどして凌いでおり、狭い待合室では気分が悪くなる方が出る程でした。一方、冬の暖房は火鉢とストーブでした。

昭和30年中期から40年後期にかけて、病院建物を現在の鉄筋建造物に建て替えてからは、セントラルの空調設備になって随分と改善したものでしたが、昔はモノがなくともヒトとの温かい触れ合いが多く、とても懐かしく、一つひとつが勉強になりました。ヒトとの出逢い、ヒトが好きなのが私の取り柄かな、と思います。

当院の理念は、「地域のホームホスピタル」です。先代から受け継がれてきた考えを今日的に表現したもので、地域に関わり、地域に貢献する、「地域のかかりつけ病院」で在り続けたいとの願いが、今も昔も変わらずに込められています。

現在は法人参与としての立場で、当院で勉強して来たことを後進に引き継ぎつつ、微力ながらも理念継承のために日々研鑽し、一人でも多くの職員が、同じ目的を持ち、医療従事者として新しい夢に向かって右田病院を盛り立てて行って欲しいと思っています。

来年の9月には、暁町へ移転新築して新病院が開院します。北側に小宮公園を背負う高台に立地し、南に富士山を始め八王子駅中心街を見渡す眺望で、療養環境は充分です。



昭和2年診療所



昭和 8 年病院開設

職員のレベルアップを図りながら、八王子の救急医療を担っていく、院長の方針に少しでも協力し、次世代に右田病院の理念をバトンタッチしていきます。



昭和 49 年増築



平成 13 年増築

なお、本町にある既存病院の跡地には、サテライトクリニックを開院し、在宅医療を手掛けつつ、通所系施設や高齢者住居の開設が検討されており、地域の皆様方に少しでもお役立ていただけるよう検討中です。

まだまだ、私ものんびりさせていただけないそうです。



平成 24 年新病院開院予定



宇宙の学校で使用したテーブルを製作した。子供が使うため、安全に気を配った。

まず、テーブルの角を 3cm 切り落とし、足をぶつけても怪我しないようにした。次に板の切り口は鉋で角を落とし、やすりで滑らかにし、全体にニスを塗り、かすり傷を防いだ。

脚は市販品だが、1脚 6 本の木ネジが、抜けないようにネジにボンドを付け固定した。脚の取り付け位置も子どもが寄りかかってもテーブルが倒れないように配慮した。

この様な事が物造りの原点ではと思う。(N.Y)

編集後記

今回初めてプロバスだよりの編集をしました。今までこの種の作業はすべて人任せにしていた為、大変苦勞をしました。例えば写真担当の方から送られてくる写真をどうやって取り込むのかとか、写真の横に文字を入れるのはどうやったら良いのかとか、突然文字間隔が変わってしまったが、どう修正するのか等、ワードの初歩の勉強でした。また全体を所定のページに収めるのに苦勞をしましたが、ご覧のようにきれいに収まりませんでした。すみません。

寺田 昌章